

JPOPM15
2008年11月27日
@秋葉原コンベンションホール

IPv4アドレス移転提案の ディスカッションポイント

IPv4アドレス移転提案の資源管理 における影響

□ ポリシーで定義するIPv4分配メカニズムの変更

現在	移転提案後
アドレスの利用に基づいた分配	LIR間で合意した取引条件に基づいた分配
RIRが分配の判断、管理を行う	個々のLIR間の合意ベースで分配調整が進められ、中央管理を行う組織はない

提案者の意図は「実情」を反映したポリシーへ変更すること

□ RIR機能の意識的な変更

現在	移転提案後
新たなIPv4アドレスの分配	N/A
IPv4アドレスの分配調整・管理	行わない(Geoffの提案の場合)
分配先の管理	分配先の管理

「分配先の特定」のみに絞る

支持する立場としては...

- 移転は避けられない。RIRの機能としてDB更新を維持するためには認めざるを得ない

- RIRの在庫枯渇後のIPv4アドレス取得の手段としてよい
 - レジストリによる回収・再分配より効率的

- 消極的賛成。RIPEで通ったら認めざるを得ない？

反対する立場としては...

- 本当に混乱が生じるほどの規模で移転が起こるのか？
 - ISPでフィルターされるので一部で行われても大きな問題にはならないのでは？
 - 事前にポリシーだけ用意しておいて必要に応じて施行すればいいとの意見も出ている

- IPv4アドレス需要への対応として移転は暫定的な措置で長期的な解決にならない
 - RIR管理外の影響を及ぼしてまで施行する価値はあるか？

ディスカッションポイント①

— 移転の是非 —

1. 移転提案の有無に関わらず、IPv4アドレス在庫枯渇後、LIR間の移転は行われると考えるか？
 - 提案者の想定しているようにある程度の規模で行われる
 - これまでよりは増えるが問題になるレベルではない
 - 本提案が施行されなければこれまでと変わらない
2. ポリシーでアドレス移転を認めなければ提案者の想定している問題が生じると思うか？
3. 現在のGeoffの提案に賛成/反対？
 - 条件付賛成はこの場合は反対
4. 条件が変われば移転を認めること自体には賛成？
 - その場合の賛成の条件は (Geoffの提案で懸念を感じる点はどこか) ？

3. で「反対」の人への質問

施行する場合の検討事項

□ 施行時期

- APNIC在庫枯渇後ではなく今すぐ施行しなければいけない理由はなにか？

□ 利用状況の確認の必要性

- 確認しない: 投機目的の売買、アドレスの蓄積が防止できない
- 確認する: RIRへの確認が取引の過程に入ることになる

□ 移転単位

- /24単位でOK? 経路が本当に対応できるのか?

ディスカッションポイント②

— 施行する場合の検討事項 —

- 施行時期：APNIC在庫枯渇前？枯渇後？
- 利用状況の確認の有無
- 移転単位：/24単位？最小割り振りサイズ？その他？

Q&A

